

1. 科目名 (単位数)	公的扶助論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2106 SCMP2106
2. 授業担当教員	吉岡 英雄		
4. 授業形態	講義、グループ学習等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	我が国の社会保障制度の一部であり、生活を支えるうえでの「セーフティネット」ともいわれる公的扶助に関する制度の基礎知識を体系的に学習する。具体的には、貧困や低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際などに着目しながら、公的扶助の考え方やその歴史について学習する。また、我が国の公的扶助として中心的な役割を持つ生活保護制度について、その原理、原則、実施体制、制度運用の現状と問題点、被保護者の権利及び義務、相談援助活動や自立支援の取り組みを学ぶとともに、低所得層対策の考え方や具体的な制度について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代における貧困・低所得者の問題について理解し、説明することができる。</li> <li>2 社会保障制度における公的扶助の役割について理解し、説明することができる。</li> <li>3 公的扶助制度の歴史について理解し、説明することができる。</li> <li>4 生活保護制度と低所得者支援の制度について理解し、説明することができる。</li> <li>5 生活保護の動向と課題について理解し、説明することができる。</li> <li>6 生活保護制度・低所得者支援における相談援助活動について理解し、説明することができる。</li> <li>7 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の試験問題（低所得者支援と生活保護制度）について、解ける力を持つ。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業のなかで指示したレポート課題、視聴覚教材に対する感想文の提出を求める。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援』 中央法規出版、2021 年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・生活保護制度、低所得者に対する制度の内容や、これらの制度をとりまく問題について理解できたか。 ・国家試験に対応できる知識を、身につけられたかどうか。 ○評定の方法 授業への参加度 30% 試験・レポート 70%		
12. 受講生へのメッセージ	貧困問題への理解は、すべての社会福祉制度・施策、技術・方法を考えるうえで基礎となるものである。貧困問題を特殊な人の特殊な問題ととらえずに、誰にでも起こり得る身近な問題としてとらえてほしい。社会福祉士国家試験対策の学びにとどまらず、雇用・労働政策との関係の中で貧困問題をとらえることのできる、社会科学的な視点をもった専門職を目指してほしい。		
13. オフィスアワー	授業時間の前後に相談に応じる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 身近な問題としての「貧困」	事前学習	身近にある貧困問題を考える。
		事後学習	社会問題としての貧困問題を考える。
第 2 回	第 1 章 公的扶助の概念 公的扶助の概念・意義・役割 公的扶助制度の位置づけ	事前学習	第 1 章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	雇用・労働施策、一般公共施策と社会保障・社会福祉の制度・施策の関係、社会福祉制度における公的扶助の位置づけの確認をしておく。
第 3 回	第 2 章 貧困・低所得者問題と社会的排除 貧困問題が発生するメカニズム 貧困問題が生活に与える影響	事前学習	第 2 章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	貧困の概念について整理する。
第 4 回	第 3 章 公的扶助制度の歴史 (1) 海外の歴史	事前学習	第 3 章第 1 節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	貧困問題がどのように扱われてきたのかを理解しておく。
第 5 回	第 3 章 公的扶助制度の歴史 (2) 日本の歴史	事前学習	第 3 章第 2 節、第 3 節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	救貧制度の発展を理解しておくこと。
第 6 回	視聴覚教材視聴、グループワーク	事前学習	生活保護法の条文に目を通しておく。
		事後学習	講義の振り返りを行い、課題に感じた部分の学びを深めておく。
第 7 回	第 4 章 生活保護制度の仕組み 生活保護の目的、原理・原則	事前学習	第 4 章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	生活保護法の内容を確認しておく。

第8回	第5章 最低生活保障水準と生活保護基準 生活保護基準の重要性	事前学習	第5章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	生活保護基準が国民生活に与える影響について考える。
第9回	第6章 生活保護の動向 生活保護の今日の特徴	事前学習	第6章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	最近の動向を確認し、その背景についても理解しておく。
第10回	第7章 低所得者対策の概要 各種制度・施策の概要	事前学習	第7章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	生活困窮者自立支援法の意義、役割について考えておく。
第11回	視聴覚教材視聴、グループワーク	事前学習	貧困問題、公的扶助、生活保護制度について、自分の考えをまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	講義の振り返りを行い、課題に感じた部分の学びを深めておく。
第12回	第8章 生活保護の運営体制と関係組織 生活保護の実施主体と公的責任	事前学習	第8章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	生活保護行政の実態とそれを取り巻く課題について理解を深めておく。
第13回	第9章 貧困・低所得者に対する相談援助活動 生活困窮者に対するソーシャルワークの実践	事前学習	第9章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	生活困窮者支援に必要な視点・方法の振り返りを行う。
第14回	第10章 生活保護における自立支援 生活保護制度における自立概念	事前学習	第10章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	社会福祉における「自立」のとらえ方を、生活保護制度における自立概念を通して考える。
第15回	小テスト 視聴覚教材視聴	事前学習	生活保護法の条文に目を通しておく。
		事後学習	半期を振り返り、自らの学習到達度を確認し、今後の学習につなげる。
期末試験			